

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 41

プロフィール はしもと かずよし 橋本 和善 (47歳) 千葉県より移住

2017年も充実した1年に

9月に健康増進課主催で行われた市内初のノルディックウォーキングイベントと、11月の菊祭りウォーキングをサポートし、12月に笠間芸術の森公園でノルディックウォーキングの自主イベントを開催することができました。定員を上回る応募があったことから、市のまちづくり出前講座に登録し、体験の機会を増やす予定です。念願の朝房山も、地元の皆さんと一緒に登ることができました。秋以降は太極拳や卓球ラージボール等、活動の幅を広げています。

4月に笠間市に移住してから、たくさんの出会いや新しい経験をし、2016年は充実した1年にすることができました。神社やお寺のある地域では、住民が地域に愛着を持ちやすいと聞いたことがありますが、それはまさに笠間市のこと。皆さんの地域愛を感じながら、その一員として日々地域活動に取り組んでいます。



笠間芸術の森公園
ノルディックウォーキング

地域おこし協力隊とは



地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
ご覧ください facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課 (内線538)

Jordan's ジョーダンスビュー vol.12 View

Happy New Years! あけましておめでとうございます! 今年もよろしくお祈りします。

昨年も紹介しましたが、新年の始まりは、どこの国でも多くの人が New Year's Resolution (新年の抱負) を考える時期ですね。今回は、特に語学を勉強している人に私の一番好きな語学習得のコツをシェアしたいと思います。

私が一番お勧めするのは音読学習です。理由は2つあります。1つは、1人だけでもできる。もう1つは、リスニングとスピーキングを同時に練習できるからです。言葉が目から頭に入り、そして声に出して、耳からまた頭に入るという「回路」が非常に効果的だと思います。また、外国語を話す筋肉を鍛えないと会話する際は言葉がなかなか出てこないの、ぜひ普段から音読学習をしましょう!

もう1つお勧めしたいのは、ポケットに入るぐらいのサイズのノートを常に持ち歩くことです。新しい単語に出会ったらすぐにメモをして、後で復習します。覚えているつもりだったのにすぐ忘れてしまうこともあるので、ひとまず単語や表現をたくさん書き取ることがポイントです。

笠間市国際交流員 ジョーダン

10秒でわかる!? 英語表現

“Hit the Books”

ヒット・ザ・ブックス (猛勉強する)

この表現を直訳すると「本を打つ」になりますが、勉強するという意味です。しかし、通常レベルの勉強ではなく「一生懸命に」というニュアンスがあります。この表現の hit は「始まる」という意味があり、hit the road (旅立つ) という表現もあります。

I have a test next week so tomorrow I'm going to hit the books.
(来週、試験があるので、勉強しなくちゃいけない)



外国人おもてなし英会話セミナー
(笠間市商工会)

笠間市国際交流員 (CIR : Coordinator for International Relations)

JETプログラム (語学指導を行う外国語青年招致事業) で派遣され、英語教育と市の国際化に関わる活動に取り組んでいます。